

【別紙1-2】

1. 希少植物の生息域外保全活動 植物栽培方法等の比較表

	種名 (科名)	レッドデータブック 記載ランク(国、府)	花期	自生地の環境	栽培環境・方法 (容器栽培として)		殖やし方 (交雑しやすい植物は 実生を推奨しない)
					日照	水やりの注意	
A	フタバアオイ (ウマノスズクサ科)	—	3～5月	落葉樹林下	春先は明るい場所、5月以降 は半日蔭、盛夏は日陰に	水はけの良い土で、ムシない ように。5月以降は水はたっ ぷり	株分け、実生
B	フジバカマ (キク科)	環境省準絶滅危惧(NT) 京都府絶滅寸前種	9月下旬～10 月	川の堤防、水田 周辺などの明るい 水辺	日当たり好む、盛夏の西日は 苦手	盛夏は腰水灌水、1日2回 (盛夏の日で灌水不可能なら 日射を避ける)。	挿し芽
C	ヒオウギ (アヤメ科)	京都府準絶滅危惧種	7月中旬～9月	海岸の草地、海 岸林、山の草地	日当たり好む	乾燥には強いが、花期前・盛 夏は日射と乾燥による葉焼 けに注意	株分け、実生
D	キクタニギク (キク科)	環境省準絶滅危惧(NT) 京都府絶滅危惧種	10月下旬～11 月	乾いた川の法面、 山麓の土手	日当たり好むが、盛夏の日射は 苦手。短日植物であり、夜間照明 の近くに置かない。	乾燥にはやや強いが、盛夏 は乾燥に注意	挿し芽
E	オミナエシ (スイカズラ科/旧オミ ナエシ科)	京都府準絶滅危惧種	8月～10月	日当りのよい湿性 地など里草地	日当たり好む	乾燥にはさほど強くない。盛 夏は1日2回(灌水不可能な ら日射を避ける)。	株分け
H	ワレモコウ (バラ科)	—	7月～10月	日当りのよい湿性 地など里草地	日当たり好む、盛夏の西日は 苦手	乾燥にはさほど強くない。夏 は特に注意する。	株分け、実生
J	ノカンゾウ (ススキノキ科/ワスレ グサ科)	京都府絶滅危惧種	7～8月	日当りのよい湿性 地など里草地	日当たり好む	夏は乾燥に注意。盛夏は腰 水灌水。	株分け、実生
K	タムラソウ (キク科)	—	8～10月	里草地、高原	日当たり好む	夏は乾燥に注意。他の季節 はやや乾燥気味に	株分け、実生

※実生……種子から発芽した苗を育てること